

みえの安心食材

きゅうり

●取材先

水谷 隆さま
津市栗真町

●食材説明文 (約 140 文字)

収穫時の切り口から溢れ出る水分が、朝日に照らされてキラキラと輝く…。収穫したばかりのきゅうりが物語る、みずみずしさだ。

成長の早いきゅうりを毎日観察しながら、葉っぱ1枚1枚の状態まで把握することで、病気や害虫の発生を予測・予防する。減農薬に力を入れる三重きゅうりは、プロが長年培った経験で支えられている。

●現地風景コメント (約 30 文字)

1



広々としたハウス内は、
きゅうりのつるが整然と並ぶ。

2



減農薬のためには、温度や湿度を徹底管理できる
しっかりした設備が必要。

3



病気を防ぐため、ハウス内の湿度は、
80～90%に保たれている。

4



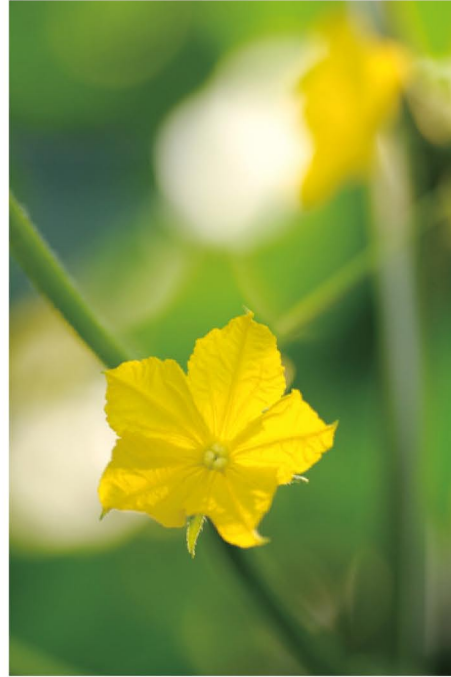
土の上にかぶせられたシートは、
土の保温・保湿の他に、草が春野を防ぐ役割も兼ねている。

5



たった1ヶ月で、
ツルは2mの長さになる。

6



きゅうりは雌花だけで実がなる。
雌花のつけ根には、
実となる部分が膨らんでいる。

7



まっすぐ、太く伸びたものは、
障害なく順調に育った証。

8



ツヤのあるもの、緑の鮮やかなものが、
よいきゅうり。

9



きゅうり自身の重みで茎や実が、
地面につかないよう吊しておく。

10



チューブを通して水やりをする。
きゅうりの状態を見て量・回数を決める。

11



光合成を促進するために、
下の葉を間引く、摘葉作業。

12



つまんでいるのは「卷きひげ」。
つるを支える役割を担っている。

13



もみ、ワラ、豚糞、牛糞、
土づくりには各農家のこだわりが現れる。

14



手の平より一回り大きい葉は、
光合成の効率が良い。

15



葉っぱの枚数や大きさにまで、
生産者のこだわりがある。

16



きゅうりは成長が早いため、
一日たりとも目が離せない。

17



長さ20cm、太さ2~3cmに
なったものを収穫する。

18



朝採りのきゅうりは、
水分をたくさん含んでみずみずしい。

19



写真は「エクセレント」という品種。
きゅうりは、世界で約500品種が栽培されている。



別バージョン

●食材写真コメント (約 30 文字)

21



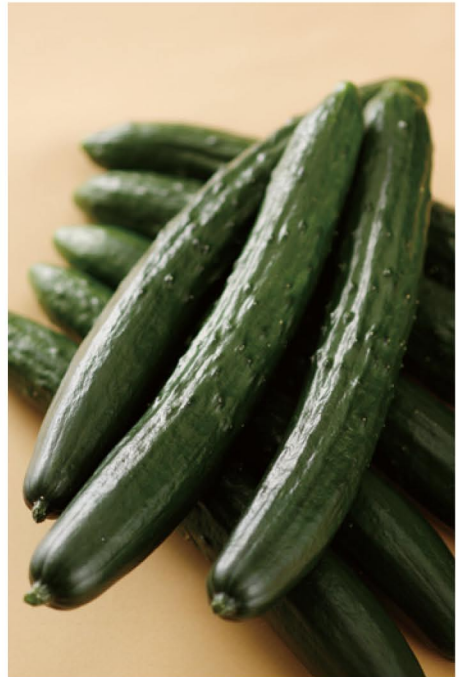
まっすぐ伸びたきゅうりが、
シャキシャキしておいしい。

23



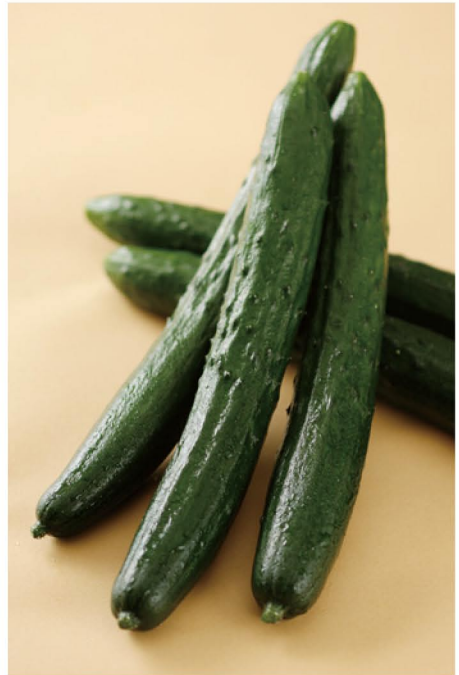
別バージョン

22



縦バージョン

24



縦バージョン

●調理盛付例コメント (約 30 文字)

25



炒めても、シャキシャキとした食感が残る。
きゅうりの甘みがしょうゆ味をまろやかに。

26



アップバージョン

27



横バージョン